高齢の方々を支援している温かい場です。お立ち寄りをお待ちしています。

小金井市の高齢者は大丈夫ですか！

中根三枝（自民党小金井）

100歳以上の高齢者の所在不明が全国各地で起こり社会問題となった。(ア)小金井市の100歳以上人口は何人か。(イ)所在不明者はいるかどうか。調査方法も合わせて問う。(ウ)虐待の現状は。

福祉保健部長　(ア)8月1日現在47名。(イ)市長が9月1日の一陽来復で報告したが、行方不明の状態は無い。介護保険サービスの利用状況や高齢者医療サービスの利用状況を調査し確認した。(ウ)21年度の通報は23件で19件を虐待と判断した。内容は身体的虐待、ネグレクト、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待だが、介護者が抱える問題や苦労もあるので原因を取り除く形で虐待の解決に努めたい。何かあれば地域包括支援センターなどにお知らせ願い、一緒に解決するように努めたい。

■他所では戸籍が抹消されていないための超高齢者がいると思うので小金井市でも戸籍簿を調べるよう要望した。シルバー人材センターや老人会以外のお茶飲み雑談ができる場所づくりを提案した。他にドメスティックバイオレンス、子どもの虐待、母子寡婦の公営住宅入居の質問をした。

小金井市健康診査を利用しやすいものに

武井正明（民主・社民）

❶小金井市健康診査を利用しやすいものにするため、(ア)市内の診療機関でしか受診できないのは問題ではないか。(イ)近隣市でも受診できるようにすべきではないか。

市民部長　(ア)平成20年4月の制度改正により、市内での受診となっている。(イ)小平市や国分寺市などでは、他市の診療機関でも受診できるよう改めており、小金井市医師会と協議をしたいと思う。

❷東大通りの交通安全対策を求めたい。(ア)特に昼休みなど、午後の時間帯は違法駐車がひどい。市として把握しているか。(イ)パーキングメーターを設置すべきではないか。

都市整備部長　(ア)指摘された点については、確認して警察とも相談している。(イ)30メートル以上の道路以外への設置は、警察としては考えていないとのことである。

■他に、市財政の現状と今後の財政運営について、(ア)前年度繰越金の各基金への積立て(イ)今年度の歳入の見通し(ウ)今後の職員人件費について質問し、行財政の効率的運営に努力し、市民要望にこたえるよう指摘した。

2010’江戸東京野菜カレンダー

給食に地場の野菜を供給するシステムを！

渡辺ふき子（公明党）

❶学校給食に小金井産の野菜を使いたいとの栄養士さんの熱意から、農家の協力を得、30年にわたって地場野菜の取組を続けてきた歴史がある。しかし、農地も減少しており、今のままでは地元の野菜を供給し続ける事は難しい。学校と農家と農協が協力し、持続可能な供給システムをつくるための協議会を開催すべき。

学校教育部長　取り組める方法を研究したい。

市長　地場産の食材を給食で使うのは非常に理想的。生産者にも使う側にもインセンティブが働くようなシステムを考えたい。

❷全国各地で地域ブランドによるまちおこしが脚光を浴びている。江戸東京野菜やルバーブ等、小金井ブランドの野菜をもっと市民に知らせ、食育の推進や、地域の活性化に役立てるべき。

市民部長　今年は江戸東京野菜を味わう秋の黄金井丼フェアを開催する。小金井産の野菜に付加価値を付けて、広くPRしていきたい。

■他に、遊歩道や公園の案内板の汚れや薄れ、図書返却ポスト等の落書き対策、集会場の時間区分について質問。

子どもに優しいまちづくりを徹底せよ

田頭祐子（みどり・市民）

❶化学物質が及ぼす子どもへの健康影響を未然に防止するための施策や取組を問う。(ア)最も影響を受けやすい胎児や乳幼児への影響を防ぐために、両親学級や乳幼児健診で、石けんの良さを伝える環境学習を行わないか。(イ)保育園や幼稚園でも石けん使用を勧めるポスターを掲示しないか。(ウ)電磁波の影響を周知せよ。携帯電話基地局の把握は。設置の届出制度を導入しないか。(エ)マンション管理業者や市民へも農薬散布を指導し、周知徹底を図らないか。

福祉保健部長　(ア)横断的な取組になる。研究したい。

環境政策課長　(イ)市立保育園は場所が無い。幼稚園での情報提供は考えていく。(ウ)確実性が無いものの広報は悩み多い。基地局は2社で43局。所在地や出力は、業者と密に連絡を取りながら把握する。実行性のある要綱等も調査していく。(エ)効果的な周知の方法を検討する。

❷災害時の要援護者の把握に、乳幼児や妊婦、外国人も含めないか。

福祉保健部長　一人親家庭の方も含め、地域での支援を研究する。

「合成洗剤はNO!」蛙ポスター

今でもできる！図書館を情報発信の拠点に

野見山修吉（みどり・市民）

(ア)本の魅力ある配架に工夫を。(イ)市内の観光などの団体への情報提供や連携を。(ウ)図書館機能を使えるように利用の手引を作らないか。(エ)図書館の運営方針の見直しを。(オ)調べ学習へのデータベース作成と配本システムの構築を。(カ)地域図書館の役割と位置付けを。(キ)図書館に専門的非常勤職制度を導入しないか。

生涯学習部長　(ア)分かりやすい、興味を引くような配架を工夫したい。(イ)、(エ)、(カ)来年度以降人員配置体制を見直しつつ、できるだけ同じメンバーを中心に運営方針の見直しをする。その中で、関係機関との連携を検討したい。地域図書館の位置付けも明文化したい。(ウ)図書館利用の手引の工夫等分かりやすい資料を提供していきたい。(オ)データベースは活用も図りつつ作りたい。配本は予算の関係もあり検討したい。(キ)現行の非常勤の制度上は難しいと思う。いろいろな考え方の一つとして研究する。

■この他に、市民活動推進条例の策定を求め、「財源確保、デフレ脱却、格差是正」には所得再配分機能を拡大する税制改革の必要を訴えました。

文明の利器自動販売機の社会的使命

宮下　誠（公明党）

自動販売機の技術革新はめざましい。業界団体は、基準年の2005年から15年間で電力消費量を50％削減するという。また、AED内蔵型や児童見守りシステム内蔵型、災害対応型など社会的使命を意識した新タイプも登場している。(ア)災害対策として、飲料水の提供や自動販売機内の品物の提供等、関係団体と協定を結ばないか。(イ)総合体育館や市民交流センターなど、拠点となる公共施設に新タイプの自動販売機を導入しないか。

総務部長　(ア)市の自動販売機に対する方針もあり、協定の締結については環境部とも協議しつつ検討していく。

環境政策課長　(イ)市の自動販売機削減方針に則って、既存の機械の削減を図りながら、必要性を勘案して特段の理由があれば、新タイプの導入も研究しつつ慎重に対応する。

■その他、国土資源の高度利用への基礎資料ともなり、地権者が土地を動かす際の測量費の節減にもなる「地籍調査」について、その重要性を指摘。国や都からの75％もの補助金等を活用しながら、着実に進めるよう要望しました。